

vol.1 ぽんぽん T シャツ

 ぽんぽんって？

りんごの出荷で使われていたスポンジ印。  
りんごを梱包するダンボール箱に、品種や等級、個数などを軽やかに  
押ししていく様子から、業界では「ぽんぽん」と呼ばれています。

当たり前のように目にするこのスタンプ、実は弘前で生まれた商品でした。

このスタンプを開発したのは、創業100年を超える  
三照堂印店の4代目・木村忠資さん。  
昭和30年代当時、りんごの木箱に出荷情報を印字するのは、  
文字を切り抜いた版をあててインクを塗っていく手間のかかる仕事でした。  
この様子を目の当たりにした木村さんは印判士の技術を生かして、  
押しやすく、印字が綺麗で、耐久性に優れたスタンプを開発しました。  
梱包が木箱からダンボールへ変わってゆく流れにも乗り、ぽんぽんは大ヒット。  
りんご出荷には無くてはならないスタンダード・アイテムとなりました。

現在では印刷技術の発展により活躍の機会が失われつつあるぽんぽんを、  
多くの人に知って欲しいという思いから、魅力たっぷりのTシャツにしました。  
ぽんぽんが持つ味わいや、誰かに教えたくなるりんごの知識が詰まった一着です。

三照堂印店4代目・木村忠資さんとぽんぽん



①有袋



②モールドバック詰



③電冷



■デザイン：全三種、デザイン部分は発泡プリント加工

①有袋（白／文字：黒）

②モールドバック詰（白／文字：チャコールグレー）

③電冷（黒／文字：白）

■サイズ：M・L（5.6オンス ビッグシルエット Tシャツ）

■パッケージ：ぽんぽん（スポンジ印）とは・各スタンプの説明紙付

■定価：5,500円＋税

■販売場所：弘前れんが倉庫美術館ミュージアムショップ

詳しくはこちら



弘前時計会  
HIROSAKI\_TIMES



ゆうたい むたい  
有袋、無袋

あなたはどっち派？

有袋栽培されたりんごに押されるスタンプ。

袋かけは、大発生した害虫からりんごを守るため明治38年に始まりました。そのメリットは害虫を避けるだけでなく、果皮が薄くて皮ごと食べやすく鮮やかな紅色になり、貯蔵性が高いこと。対して無袋りんごのメリットは太陽をたくさん浴びて育つため、果皮の赤みが濃く、糖度が高く、品種によっては蜜がたっぷり入ること。ちなみに名前に「サン」と表示があるものは無袋栽培のりんごを指します。



綺麗な君を守りたい

りんごの梱包資材の名称。

卵パックのようにりんごの大きさにあわせて凹んでいるため、箱に詰めてもりんごを傷つけずに輸送することができます。玉数、サイズにあわせて様々な組み合わせがあります。厚紙やプラスチックなど素材は多々あり、色は緑か白の2色。どちらもりんごの赤を美しく引き立たせてくれます。他には「キャップ詰」（果実を包む網目の発泡ネット）スタンプもあります。



最新技術にご注目！

「電冷」とは、「電気冷蔵」の略。

りんごを美味しいまま長期間保存するために、冷蔵設備は欠かせません。その歴史は明治時代から続く雪室（ゆきむろ）を利用した保存方法から始まり昭和30年頃に電気冷蔵庫が、その後、より長期間の保存を可能にするCA冷蔵庫が登場しました。現在のはりんごの販売時期によって、電気冷蔵庫とCA冷蔵庫を使い分けています。電気冷蔵庫が導入された当時、まだ一般にも家庭用冷蔵庫は普及していませんでした。「電冷」と敢えてスタンプにする所に自慢の最新設備への誇らしげな様子が伺えます。



ぽんぽんは一つずつ手作業で仕上げられている



チャコールグレー・ブラック・ホワイト 表現性の高い低発泡プリントを使用